

山陽学園大学

大学コンソーシアム岡山への活動参加記録 2018.06

日ようび子ども大学へ

森と高原のまにわ・東あわくら面白教室を出展

2018(平成30)年6月3日、岡山県生涯学習センターで開かれた大学コンソーシアム岡山主催の「日ようび子ども大学2018」に、山陽学園大学は山陽学園短期大学とともに出展しました。大学からは学生10人教員1名が参加しました。本学の出展は2011年の第1回依頼7年連続になります。



写真1 本学の展示室

森と高原の「まにわ・東あわくら」おもしろ教室

真庭市・美作市東粟倉地区は本学の学生チームが岡山県の支援を受けて中山間地域活性化の活動をしています。今回はこの蓄積を活かし、子どもたちに、岡山県の北に広がる、森と高原のおもしろさを伝えました。

①真庭(まにわ)

真庭の動物が登場するペープサートを上演しました。動物はジャージ牛のラブリーちゃん、オオサンショウウオのはんざき君、そして北房(ほくぼう)のホタルです。ラブリーちゃんの世話役や、オオサンショウウオを調べている人物を登場させたことにより、動物と村の人との結びつきを伝えました。

②東粟倉(ひがしあわくら)

村でとれる茅(かや)で工作をしました。ボードに茅で家の形を貼り付けました。



写真2 ペープサート「まにわのどうぶつ」

ペープサートはストーリー、紙人形ともオリジナル

3種類の動物を紹介できました。当日の上演の前に本学園の短期大学附属幼稚園で実際に子ども達の前でリハーサルを行ったので、当日スムーズに上演できました。

茅の工作は、ボードに茅を貼り付け家を描きました。予想以上に子ども達が作ってくれたので嬉しかったです。

学生による開会宣言、受付、直行バスに乗ってきた子どもへのノートプレゼント、終了後のグラウンドへのトンボ掛けといった運営活動へ参加しました。時間に遅れずに指定の場所に行くのに気をつけなければならなかったが、出展だけでなく運営に参加できたのは良かったと思っています。



写真3 受付で子ども達に対応